

令和7年7月28日  
気象庁地震火山部

## 配信資料に関するお知らせ

東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの観測データ活用再開について

海底地震計と海底津波計を備えた東南海ケーブル式常時海底地震観測システム（別紙参照）において障害が発生し、7月13日13時頃から、当該観測システムの海底地震計の観測データを緊急地震速報の発表に活用できない状況となり（※1）、また、同月15日15時頃からは海底津波計の観測データを津波の監視に利用できない状態となっておりました（※2）。

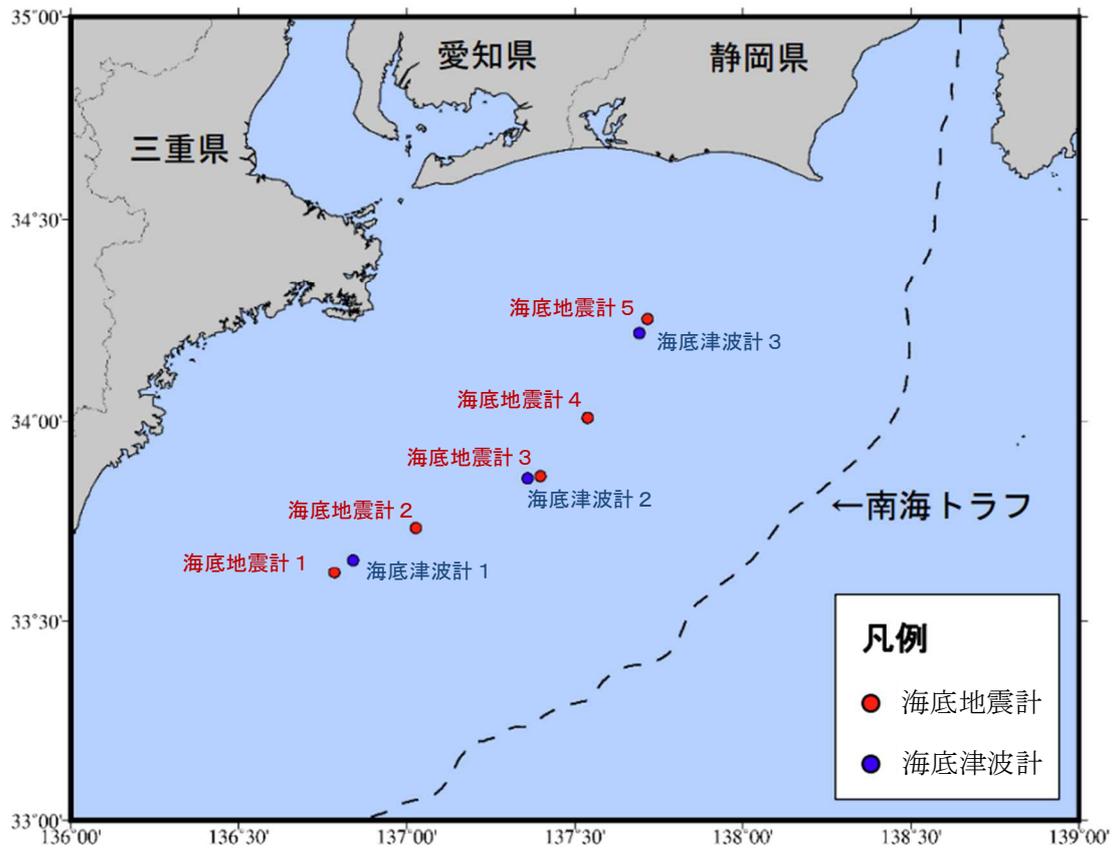
その後、障害の原因となっていた当該観測システム陸上局機器の復旧作業を行い、観測データの正常性を確認できたため、7月25日12時から緊急地震速報及び津波監視への活用を再開しました。

これによって、当該観測システムの観測点周辺を震源とする地震が発生した場合に緊急地震速報の発表が平常時より最大で12秒程度遅くなる可能性がある状態や、沖合の津波観測に関する情報で当該観測システムの津波観測データが発表できない状態は解消しましたのでお知らせします。

※1 「東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの障害に伴う緊急地震速報への影響について」（令和7年7月14日付お知らせ）

※2 「東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの障害に伴う影響について（第2報）」（令和7年7月16日付お知らせ）

東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの  
海底地震計及び海底津波計の位置



東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの構成（概念図）

